

事業シート

| 事業名 | | 窓口キャッシュレス決済 | | | 事業開始年度 | 2022年度 | |
|---------------------------|---|--|-------------------------------------|----------|---------|--------|--|
| 事業実績 | 活動実績 | 【活動指標名】（実績値/目標値） | 単位 | 2024年度 | 2023年度 | 2022年度 | |
| | | 窓口キャッシュレス利用件数 | 件 | 13,572/- | 8,390/- | -/- | |
| | | 窓口キャッシュレス端末設置数 | 台 | 27/27 | 27/27 | -/- | |
| | | | | / | / | / | |
| | 単位当たりコスト | / | 件 | 211円 | 338円 | - | |
| 事業成果 | 成果目標 （指標設定理由等） | 集計データがある市民課証明及び税証明について、総取扱件数中の窓口キャッシュレス件数を記入 | | | | | |
| | 成果 （目標達成状況） | 【成果指標名】（実績値/目標値） | 単位 | 2024年度 | 2023年度 | 2022年度 | |
| | | 窓口キャッシュレス利用率 | % | 12.97/- | 8.80/- | -/- | |
| | | | | / | / | / | |
| 自己評価 | 廃止・凍結 | 国・県・広域・民間 への移管 | <input checked="" type="checkbox"/> | 要改善 | 現行通り・拡充 | | |
| 評価の内容 | <p>民間においても、実店舗等でのキャッシュレス決済の導入が進んでいることから、利用者の利便性向上の観点からは一定の効果があったものと捉えている。運用を開始した2023年度に比較して、2024年度は利用件数が60%弱の増加率となっている状況であるが、行政手続のオンライン化が進むにつれ、窓口におけるキャッシュレス決済の利用実績は減少することが想定されるため、その規模は縮小していくものと考えている。</p> <p>また、職員の現金取扱のリスクや集計作業の負担軽減等、行政内部における事務効率化を目的としている側面もあるが、基本料金や2～3%の決済手数料等のランニングコストを要するため、現在の財政状況を鑑みて、その費用対効果を検証し、端末設置場所を再整理する等の必要がある。</p> | | | | | | |
| 課題 | 2024年度 | 1年間運用した実績を踏まえた、より効率的な運用方法や調定額の集計フロー等（企画課と担当課での処理）の検討 | | | | | |
| | 2025年度 | 窓口キャッシュレス導入所属における利用件数の偏りを踏まえた、費用対効果や端末設置の必要性等の再検証 | | | | | |
| 今後の予定 | 窓口キャッシュレス導入所属へのアンケート実施 （契約期間の中間年であることから、導入所属へのアンケートにより費用対効果等を検証） | | | | | | |
| 比較参考値 （他自治体での類似事業の例など） | | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |